

今治東中等教育学校「スポーツコース」

1 スクール・ミッション（期待される社会的役割、目指すべき学校像）

東予唯一の中等教育学校として、6年間にわたる体系的で質の高い教育活動を推進します。また、学問やスポーツ、産学官連携における探究的な教育活動を通して、生徒の多様な個性を伸ばすとともに、グローバルな視点を持って社会の発展に自ら貢献する人材を育成します。

2 新コースのコンセプト（新コースの教育活動・学校生活における基本的な考え方）

- (1) 後期課程（高等部）に、「スポーツコース」を設置し、5年生から、「アスリート類型」と「スポーツマネジメント類型」に分かれ、卒業後のビジョンの実現を図ります。

注：スポーツコース以外の生徒は、5年生から「ヒューマニティーズ類型（文科系）」「サイエンス類型（理科系）」に分かれます。

ア スポーツコースでの学びを通して身に付ける知識や技能を基に、「新しい”ゆるスポーツ ※”」をつくるなど、様々な立場や状況の人々とともに、スポーツによる共生社会の実現を目指す意欲や創造性を醸成します。

※年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、誰もが楽しめる新しいスポーツ。

イ 「アスリート類型」では、自分の専門とする競技に関わる基礎・基本の確実な定着を図るとともに、高度な知識・技術及び技能を習得できる教育を実践します。

また、将来「アスリート」を目指す生徒の育成に加え、「幅広い地域スポーツの指導者」として地域の活性化に貢献できる生徒の育成も目指します。

ウ 「スポーツマネジメント類型」では、スポーツをビジネスとして、また生涯スポーツとして普及・発展させる力や、スポーツ団体のマネジメントに必要な企画力、発信力、実行力を身に付けられる教育を実践します。

- (2) 社会の変化に対応した教育活動を展開し、一人一人の進路希望の実現を目指します。

ア 二つの類型の特色を生かした体育系や経営系、教育系等の4年制大学等への進学や企業への就職など、生徒の多様な進路希望や興味・関心に対応した教育を展開します。

イ 多彩な選択科目を配置し、少人数講座による分かりやすい授業を実践し、進学にも就職にも対応したカリキュラムを展開します。

ウ 競技の審判や食育アドバイザー、防災士等の各種資格取得により、地域や地元企業、大学等から高く評価される学校を目指します。

エ 地元のプロスポーツ団体やスポーツクラブ等と連携し、スポーツチームの組織づくり、スポーツに関するマーケティング調査、イベントの企画等を学ばせることにより、地域を学びのフィールドとした実践的な教育を展開し、地域連携型学習の充実を図ります。

オ 高大連携などを通して専門家との交流ネットワークを構築し、高度な技術に触れたりグローバルな活動を体験したりすることや、小高連携で出前講座などを実施することにより、知的好奇心を喚起しながら進路実現への意欲を醸成します。

(3) 地域と連携した体験活動やボランティア活動を充実させます。

ア 地域連携型の学習を通して身に付けた知識・技術を生かし、スポーツに関わる地域課題の解決に取り組みます。

イ 地域の小学校や特別支援学校の運動会、スポーツイベント等でのボランティア活動に積極的に取り組み、公共性や社会性を育成します。

ウ 「新しい“ゆるスポーツ”」の普及を通じて、コミュニケーション能力や表現力、多様性を重視する心を育成します。

3 スクール・ポリシー（入学から卒業までの教育活動に関する三つの方針）

【普通科】

卒業までに育てる力	グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の個性（好きなこと、得意なこと、優れていること）を知り、努力して伸ばそうとする人を育てます。 ○グローバル社会を生きるために必要な人権感覚を持ち、自分と他の人を共に認め、共によりよい社会を築こうとする人を育てます。 ○持続可能な社会づくりに貢献するために、必要な学力や教養を身に付けた、行動力や創造性を持った人を育てます。
何をどのように学ぶのか	カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
	<ul style="list-style-type: none"> ○前期課程（中等部）では、習熟度別講座での学習により、基礎学力の定着を図ります。また、「総合的な学習の時間」等での多様な体験を通して、卒業後のビジョンを持たせます。 ○後期課程（高等部）には、「文理コース」と「スポーツコース」を設置します。「文理コース」には「ヒューマニティーズ類型（文科系）」と「サイエンス類型（理科系）」を、「スポーツコース」には「アスリート類型」と「スポーツマネジメント類型」を設けて、より専門的な学習を行うことで、卒業後のビジョンの実現を図ります。 ○3年生（中3生）と4年生（高1生）が合同で行う「総合的な学習/探究の時間」等の専門的で継続的なプログラムによって、生徒の個性を伸ばします。 ○前期課程から大学や官公庁、企業、NPO等と提携した活動に参加することによって、専門的で体験的な学習を推進し、身に付けた知識を行動につなげる力を養います。 ○各種コンテストやコンクールへの参加、検定や資格取得を奨励し、持続可能な社会づくりに生かすことができる行動力や創造性を培います。 ○幅広い年齢層の生徒が共に活動する学校行事や部活動を通して、協調性を養い、自分と他の人を共に認め、共によりよい社会を築こうとする意欲を培います。
入学時に求める生徒像	アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分も他の人も大切にできる人。 ○6年間の学校生活の中で、自分が好きなことや得意なことを伸ばそうとする意欲を持っている人。もしくは、自分が好きなことや得意なことを見つけないと考えている人。 ○学習や学校行事、部活動等に積極的に取り組むことができる人。 ○異なる国の文化に関心を持ち、国際交流などに意欲的に取り組むことができる人。